

rFMSの現状(欧州の現状)について

平成27年8月7日
自動車局安全政策課

- 発行 : 2014年9月15日 version1
- 概要
rFMS APIバージョン1により、車両の情報や位置について、共通の方法でOEMのサーバーから直接情報を得ることができるようになった。
- バージョン1では、標準として以下のサービスが定義されている。
- 車両リスト
ユーザー認証に関する情報を得る。
 - 車両ID
 - 車両名
 - ナンバー
 - サポートされているサービス
- 車両位置(現在および過去のデータ)
車両の位置に関する情報を得る
 - 車両ID
 - 位置
 - 速度
- 車両状態バージョン1(現在および過去のデータ)
車両の状態に関する情報を得る
 - 車両ID
 - 位置
 - 重量
 - 燃料
 - 距離
 - 速度
 - 運転者1の情報

- アプリケーションプログラミングインタフェース (API、Application Programming Interface) とは、ソフトウェアコンポーネントが互いにやりとりするのに使用するインタフェースの仕様である。
- APIは、アプリケーションから利用できる、オペレーティングシステムやプログラミング言語で用意されたライブラリなどの機能の入り口となるものである。主に、ファイル制御、ウィンドウ制御、画像処理、文字制御などのための関数として提供されることが多い。
- つまり、簡単にいえば、アプリケーションをプログラムするにあたって、プログラムの手間を省くため、もっと簡潔にプログラムできるように設定されたインターフェースの事である。
- ウェブ開発においては、APIは一般にHTTP要求メッセージ群とXMLまたはJSON形式などの応答メッセージの構造定義で構成される。「ウェブAPI」はWebサービスと事実上同義だが、Web 2.0 と呼ばれる最近の傾向では、SOAPベースからREST風の直接的通信へと変化している。

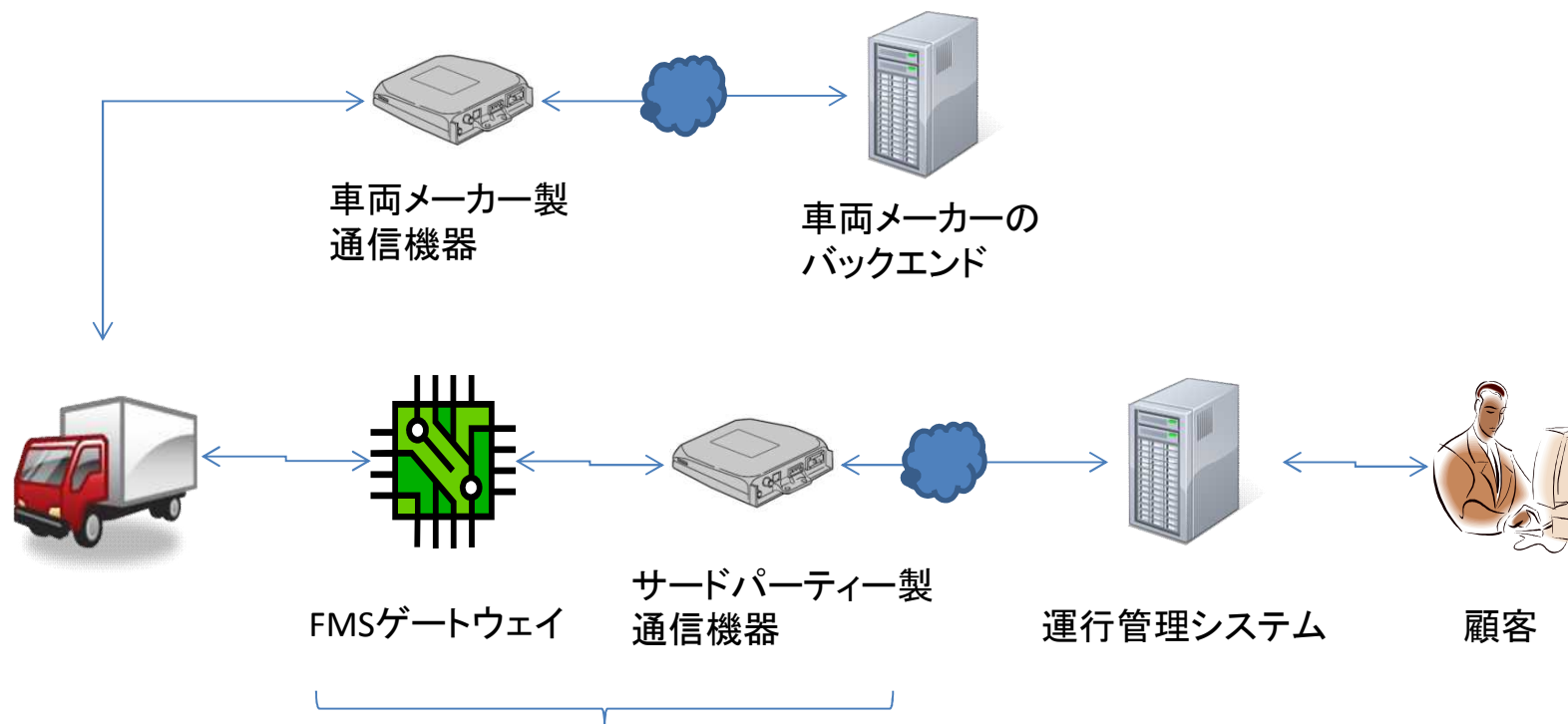
rFMSイニシアチブの動機

- 自動車オーナーが所有している車両の情報を、車両のブランドによらない共通の方法を用いてバックエンドシステムに読み出せるようにしたい
- 顧客が複数の車載通信機器を購入・設置する負担を軽減したい
- 車両からのデータの流れや、車両バスへのアクセスを、自動車メーカー製の装置に制御させたい。その両者とも、サードパーティーの機器メーカーが独自の伝送路を持った車載診断機器を設置した場合制御できなくなってしまう

現在、extended vehicle standards は ISO/TC 22/SC 31/WG 6 の一部である

Remote FMSの将来動向

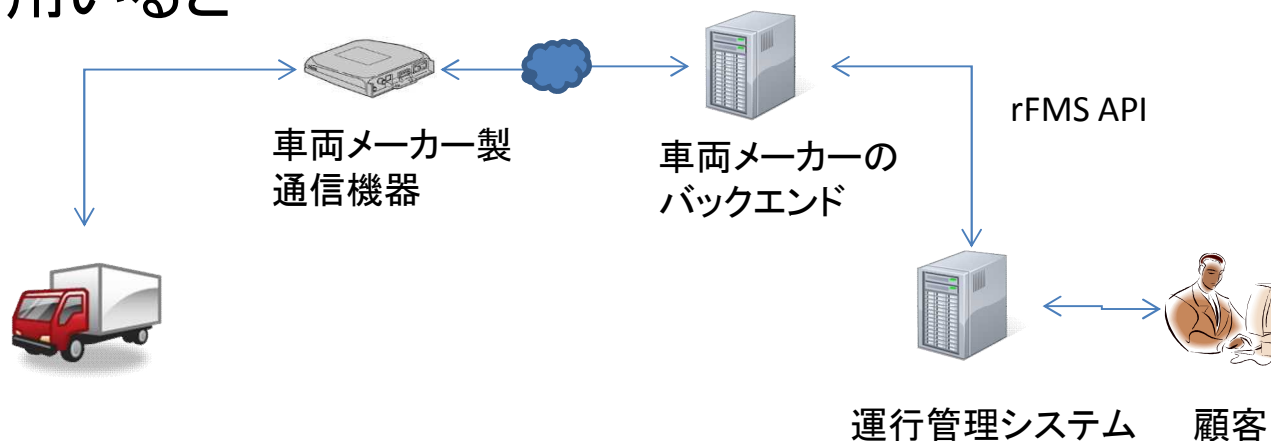
現在 (FMSゲートウェイを用いる方法)



これらを余分に購入・設置する必要がある

Remote FMSの将来動向

～rFMSを用いると～



～異なるブランドにrFMSを用いると～

